

# 電機・情報ユニオン

2017年9月10日 第72号  
 発行 **電機・情報ユニオン**  
 〒142-0043 東京都品川区二葉  
 2-20-8染野ビル2F  
 Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324  
 Email: denkiunion@gmail.com

## 第1回ユニオン現職組合員交流会 交流と連帯を深める

現職組合員の交流と連帯を深める第1回ユニオン現職組合員交流会を8月26日(土)から27日(日)の1泊2日で開催しました。交流会の場所は、大阪支部の田上三郎副委員長が所有する琵琶湖近郊に建つ伝統構法の民家「東籬庵」を提供していただきました。なぜ、交流会を

### 開催したのか

電機・情報ユニオンの活動の源は、現職組合員の職場での取組みであり、将来のユニオンを担っていくのは現職組合員です。しかし、現職組合員が自分の問題以外に、ユニオン全体の取組みや他組合員の問題解決に参加する機会は日々の仕事もあり十分でなく、現職組合員の活動参加を広げることは重要になっていきます。また、ユニオンへ加入しても、自分の問題が解決した後で退会してしまう人が見られることです。切羽詰まって問題でユニオンへ加入するものの、自分以外が見えないままなのかも知れません。そこで、顔を合わせる機

第1回ユニオン現職組合員交流会の会場・東籬庵



会の少ない現職組合員同士が、各地の現職組合員と顔を合わせて大いに話をして交流し、相手を知る機会がつくろうというところで、現職組合員をメインにした交流会を企画しました。

### 今後のたたかいに生かす

交流会には、関西、九州、関東から10人余が参加され、ご家族も参加された方もあつて、和やかな雰囲気で行いました。

米田徳治中央執行委員長のお話は、ユニオンの歴史や米田委員長を経験、人権デューデリジェンス問題等で、初めて聞く内容も多くありました。

最後に強調されたのは、今後の闘いに如何に生かすかということですが、つまり、経験を組合員に伝える、組合員拡大に活用する、職場の中に伝える、は現職の使用命です。

### 参加者のたたかいを共有

参加者からの自己紹介と報告では、多様な報告が行われました。

未解決な状態の方もおり、一安心できない状況も共有できました。さらに、雇用する側とされる側以外に、産業医という一部の医療関係者にも問題を起こす人がいることも明らかに、このような事実・情報は今後の活動にも役に立つことと思われました。

ネットで繋がる現代では様々な情報が氾濫しているため、情報の真偽を確かめ、自分に本当に必要な情報のみを取捨選択する難しさもあります。

そのため、普段は会えない方々と直接顔を合わせて話をすることは、相手を知る基本であり、非常に貴重な機会でした。直接会って話したことがある相手なら、

その後のメールや電話での会話の際にも、とても話しやすくあります。

### 食事づくりで貴重な経験

食事の支度の際には、各自が料理の腕を発揮したり、臨機応変なアイデアが出たり、意外な一面も見られて、お店で飲食するのと違って、とても貴重な経験でした。

第二回交流会を開催する場合は、参加者をもっと増やして、お互いの経験を自分の知識として、以降のユニオン活動へ生かしてみたいです。

### 第1回ユニオン

現職組合員交流会 幹事

### 第72号の紹介

- 1面 第1回ユニオン現職組合員交流会
- 2面 経験を交流し組合費納入の促進を米田委員長インタビュー-59
- 3面 第4回レクレーション 東京支部  
第33回組合員のつどい 東京支部
- 4面 告知板、交流のひろば